

パブリックコメントの結果について

1. 実施概要

募集期間	令和3年2月5日（金）から令和3年3月5日（金）
計画案等の 入手方法	<閲覧場所> 沖縄県ホームページ（意見募集（パブリックコメント）及び道路管理課ホームページ）
募集内容詳細	1. 提出方法 電子メール・FAXにより受け付け 関連資料からダウンロードできる「意見提出様式」に必要事項を記入の上、送信（送付） 募集期間最終日の令和3年3月5日（金）12時まで必着 (1) 電子メールの場合 件名を「沖縄県自転車活用推進計画（仮称）に関する意見」とし、「意見提出様式」を添付の上、次のアドレスまで送信 電子メール：aa061107@pref.okinawa.lg.jp (2) FAXの場合 「意見提出様式」を次の宛先に送信 FAX：098(866)2790
意見数	19件（5名）

2. 意見と対応について

No.	意見の分類	ご意見・ご提案	沖縄県の考え方
1	3 現状と課題	P.13 通学の自動車での送迎状況を加え施策の展開につなげる。 「TDM 施策推進プログラム H29 年沖縄県」によると、小学校4年生～高校生約の約70%が家族による自動車での送迎をしてもらったことがある・・・このような自動車での送迎が交通渋滞やそれに伴う交通事故の発生要因の一つとなっている。	本計画(案)では通学等の日常的な自転車の利用促進を図ることとしていることから、ご意見の通り、 p13において、通学時の子供の送迎を明示 させていただきます。
2		1) 沖縄県民の自転車利用の視点からの課題まとめ p.19で自転車の使用用途で全国と比して買い物用途が少ないことに対し、課題として挙げられていません。また自転車での買い物客へのインセンティブとして建物に一番近い場所に駐輪場を設置(簡易なロックが用意されているとなお良い)の検討等を加えていただきたいです。	本計画(案)では買い物利用等の日常生活での利用促進をあげていることから、ご指摘の通り、 p28において、買い物用途が少ないことを明示 させていただきます。
3		P.17 自転車利用を促進するためには、自転車の利用環境の改善とあわせて、小中学生のころから徹底した安全教育が求められます。	【措置10-①】世代毎の自転車安全教育の実施及び交通指導取締りの推進において、ライフステージに応じた段階的な安全教育を実施していきます。
4	5 実施すべき施策・スケジュール	「【措置6-②】日常的な自転車利用の促進」、「【措置7-①】自転車通勤促進のための取組推進」には、実施すべき施策として具体的な取り組みはほとんど書かれていない。広報・啓発だけでは何も変わらない。2本とも重点措置としている以上、「自転車利用促進に向けた新たな交通ネットワークの構築」、「自転車活用によるラスト&ファーストワンマイルの推進」や「バスのサブスクリプションや高齢者割引などの創設と併せてバスへの自転車乗り継ぎを検討する。」などの具体的な施策を書く必要がある。 計画は施策を動かすためのものであるのに、なぜ具体的な施策を書かないのか。ぜひ、県庁内の公共交通を担う関係課との再調整をお願いします。	日常的な自転車利用の促進や自転車通勤促進のための取組推進について、広報・啓発、事業者への働きかけとあわせて、まちなかや交通結節点における駐輪場やシェアサイクル、サイクルポート設置等の施策において、自転車と公共交通との連携に努めながら取り組んでまいります。
5		【措置4-①】まちなか等における駐輪場の設置推進 p.5において「自転車を「近距離の移動における最重要な交通手段」と位置付けます。」とあることから、まちなかや交通結節点のみでなく商業施設・公共施設・観光名所などに建物から最も近い場所に駐輪場の整備を要求してもらいたいです。	頂いたご意見も踏まえながら、【措置4-①】まちなか等における駐輪場の設置推進にて、駐輪場の整備に取り組んでまいります

No.	意見の分類	ご意見・ご提案	沖縄県の考え方
6	5 実施すべき施策・スケジュール	<p><沖縄の問題点>①渋滞 →車の多さと駐車場の多さが問題。駐車場は有料駐車場の普及。 →ラウンドアバウトの導入 →バス・タクシーの利用促進。県から公共交通機関利用時の割引をととも大きく3年ほど続ける。県の予算の莫大な費用を抑えて、公共交通の良さを理解してもらおう。5台ほどの自転車を乗せることのできるバスの普及 モノレールにも自転車を乗せられるように</p>	<p>現在、沖縄県は「TDM推進アクションプログラム」を定めて公共交通の利用促進を進めているほか、主要渋滞交差点への「渋滞ボトルネック対策」等の渋滞対策等を実施しています。担当課と連携しながら、今後も取り組んでまいります。</p>
7		<p><沖縄の問題点>②凸凹地形と気候 →電動の自転車の購入にも県を挙げて補助金を出してほしい。補助金が決め手になって買ってくれる人が多いと思う。夏の暑さに対して、職場のシャワー室設備にも補助金を。</p>	<p>国の関連する補助事業等の動向を踏まえながら、今後の計画推進において検討していきます。</p>
8		<p><沖縄の問題点>③通勤通学時間の路上駐車の撲滅 →弁当販売店などの周辺路上駐車が多すぎて自転車で道路を走りにくい一因になっている。</p>	<p>路上駐停車に関し、【措置2-①】路上駐車対策の推進において、駐停車対策を取り組んでまいります。</p>
9		<p><沖縄の利点> ・年中トレーニングが出来る環境。小さな坂道とすぐに島を横断できる ・観光地のために宿泊施設が多い ・コンビニが多く、サイクリストにはうれしい。コンビニにシャワー室補助金があってもいいかと思う。意外と少ない。</p>	<p>国の関連する補助事業等の動向を踏まえながら、今後の計画推進において検討していきます。</p>
10		<p><サイクルツーリズムとしての観光の具体的提案> 「ツール・ド・おきなわ」は日本一有名な自転車レース。現在は北部中心だが、今後3日くらいにわけて本当に沖縄の各地を巡るようにステージレースにしていくようにしてはどうか。長く宿泊してもらおう。</p>	<p>頂いたご意見も踏まえながら、【措置8-①】各種サイクリングイベントに取り組んでまいります。</p>

No.	意見の分類	ご意見・ご提案	沖縄県の考え方
11	5 実施すべき施策・スケジュール	<p><沖縄1周自転車旅> 自転車旅をしながらホテルを転々とするような体験型の観光を促進する。めっちゃいい名前の公募。また、そのレベルを初級者から上級者、超上級者まで分ける。</p> <p>例) 10時、那覇空港着 荷物はホテル側がホテルに届けておく。自転車で南部に向かいながら非常にゆっくりとユインチホテルへ。温泉につかって着替えて出発。着替えはユインチホテル側の宣伝シャツなど。</p> <p>一日目泊まるのは南部を回って、EMホテルとか、グランメールへ宿泊。このような内容を、ホテルコース。あるいは民宿コースなどとレベル分け。</p> <p>上級者になればなるほど一日150kmは走るの、ホテルの数が少なくなり安く済むなど。間に必ず寄るべき場所を決めて、証拠をとる。途中マッサージなどもできるようにしておくとうい。ある一定の縛りとしてコース設定をして、証拠を残していく。最終的には、なにかしら形に残るものを提供していくほうが良いと思う。ちなみに一日で回る強者は必ず出てくるので、そのような方には(タイムの争いまで起こると考える)別の価値のある証明も必要があるかと。メダルではなく、カップなどのほうが良いか。あるいはツール・ド・おきなわの招待。などでまた必ず沖縄に来てもらうものを提供。</p> <p>一番のポイントは、沖縄の地理に詳しくなること。寄り道がいっぱい出来る事。着替えや荷物など一番面倒なものをこちら側が助けてあげることで、自転車と財布とスマホで行動できるような運用。</p> <p>また、非常事態には、実際スピード感をもって駆けつけるのは沖縄の民間企業、タクシー、JAFやレッカー車。その他通り道になりうるコンビニ、ガソリンスタンドでメンテナンスに必要なものを常備してもらうこと。「こんなものも置いているのか沖縄では」と思わせることが重要。自転車の修理道具を提供して協力をするなど、がんばれば出来る。アプリ登録などですぐにだれかが駆けつけるような、「沖縄は県民一体で自転車乗りに優しいところなんだ」と思ってもらいたい。これが一番意識していく必要があるかと思えます。沖縄の本物の自転車乗りと、旅が好きな人にアドバイスをもらいながら形を作ることwが必要だと思えます。</p>	<p>【措置 9-①】本部半島・羽地内海コース等を活用したサイクルツーリズムの推進にて示した、取組可能なことから態勢強化を図っていきます。</p>

No.	意見の分類	ご意見・ご提案	沖縄県の考え方
12	5 実施すべき施策・スケジュール	<p><県民に利用を促進する></p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず、道路でサイクリストが集団で縦に走行して、背中にみんなで「私たちから距離をとって有難う。」のベストを付けて月に一回でも走行してもらおう。 ・白バイで自転車乗りへ注意喚起。 ・沖縄独自の自転車指導。小学生から徹底して指導する。子供があこがれる、カッコいいレース経験者などにユニフォームを着用してアマチュアチームを利用するなどして、あこがれる乗り方を指導する。大人が模範になる。体育などの授業におこなってもいいかと。 	<p>頂いたご意見も踏まえながら、【措置 6-②】日常的な自転車利用の推進や【措置 10-①】世代毎の自転車安全教育の実施及び交通指導取締りの推進にて、広報啓発やイベント、安全教育活動を実施していきます。</p>
13		<p>「沖縄の自転車の日を設立」</p> <p>県内自転車利用者へ健康増進模範者として企業や県から交付金がある。例えば特定の自転車店で、「令和・・年・・月・・日～令和5年3月3日までに自転車購入者には15%返還されます。」など。例えば、那覇は最大20パーセント、浦添は15%など、人口密度と交通混雑状況の悪い地域で還元率が高くなる計算ではどうか。</p>	<p>頂いたご意見も踏まえながら、【措置 6-②】日常的な自転車利用の推進にて、取組可能なことから広報啓発やイベントを実施していきます。</p>
14		<p>CMで、女優さんや、イケメンモデルなどが実際に沖縄県内で自転車通勤する映像をめちゃくちゃカッコよく作ってみる。「渋滞の時間もったいなくね？」や「健康に移動しよう」とかキャッチフレーズを利用する。</p>	<p>頂いたご意見も踏まえながら、【措置 6-②】日常的な自転車利用の推進にて、取組可能なことから広報啓発やイベントを実施していきます。</p>
15		<p>P. 28 通学は、ほとんどが徒歩・自転車に適した移動距離であり、通学路の環境整備が最も重要な課題ではないではないでしょうか。子どもに安全な環境は、すべての人に安全でしょう。</p>	<p>頂いたご意見も踏まえながら、【措置 1-②】自転車ネットワーク計画等に基づく自転車通行空間の整備や【措置 3-①】ゾーン 30 や狭さく等による安全対策の実施等において、整備に取り組んでまいります。</p>
16		<p>P. 31 自転車通行空間整備において、自転車専用道路は工夫が必要です。名護市の構造は、交差部の巻込み縁石の段差、左側駐車場からの自動車の飛出し（鼻だし）など、速い速度の自転車には不向きです。道路交通法上、車道が走れなくなることも問題。</p>	<p>頂いたご意見も踏まえながら、【措置 1-②】自転車ネットワーク計画等に基づく自転車通行空間の整備等において、整備に取り組んでまいります。</p>

No.	意見の分類	ご意見・ご提案	沖縄県の考え方
17	5 実施すべき施策・スケジュール	P. 35 自転車は、出発地から目的地まで様々な規格の道路を利用するため、特別な路線だけではなくすべての道路がネットワークの一部になるため、それその規格に応じた整備ガイドラインに基く市町村計画の策定と支援が重要になります。	頂いたご意見も踏まえながら、【措置1-①】市町村の自転車活用推進計画の策定や【措置1-②】自転車ネットワーク計画等に基づく自転車通行空間の整備において、整備に取り組んでまいります。
18	計画全般	<p>以前から沖縄県における自転車利用促進の必要性について強く感じていたため、当該計画における自転車利用促進に係る方針、計画に大賛成である。誰にもやさしく快適で、環境にやさしく、魅力的なまちを育てていこうと、自動車に頼りすぎない交通の在り方を模索する中で、モノレール、鉄軌道やLRT、バスなどの公共交通を軸として、徒歩や自転車の利用空間を整備していく必要があると考える。</p> <p>公共交通拠点（駅や停留所など）や中心市街地周辺への自転車利用空間、駐輪場整備など、できるところから進めていくと同時に、小中高生やその他自転車利用者への安全教育の普及、自動車運転者への注意喚起などもあわせて進めていただきたい。当該計画の推進を重ねて願います。</p>	頂いたご意見も踏まえ、公共交通等の担当課と連携しながら、本計画に取り組んでまいります。
19		<p>沖縄自転車活用推進のためには、自転車を二種類に分ける必要がある。</p> <p>1. 自転車で汗をかく人（スポーツ）は、信号がなく、路側帯が広い道路で、坂道や平坦が混ざったさまざまな風景を見ながら変化を楽しむことで100kmの道のりがあれば嬉しい。最長300kmがいい。</p> <p>2. 自転車で汗をかきたくない人は（移動手段）、お金をかけたくない。置き場所に困らない。坂が嫌。夏が嫌。である。このため、重要なことは電動自転車の普及と、歩道ではなく車道を走るといった文化の普及が必要と言える。</p>	本計画（案）では、日常利用・観光利用の双方において自転車の適切な利用を促し、自転車活用推進を通じて目指すべき将来の姿の実現を目指しています。頂いたご意見も踏まえながら、本計画に取り組んでまいります。